

第1回定例研究会

「タロットカードにおける「遊」-『宿命の交わる城』（イタロ・カルヴィーノ著）から -」

第1回定例研究会は、元ローマ・ラ・サピエンザ大学専任講師 ダニエラ・サドゥン 氏をお招きし、
タロットカードにおける「遊」-『宿命の交わる城』（イタロ・カルヴィーノ著）から - というテーマで講演いただきました。

講師

ダニエラ・サドゥン 氏（元ローマ・ラ・サピエンザ大学専任講師）

指定討論者

チコーニャ・クリスチアン 氏（翻訳家）

中川 れい子 氏（NPO 法人タッチケア支援センター理事長）

コーディネーター

森田 雅子 （武庫川女子大学生活環境学科教授・生活美学研究所研究員）

テーマ

タロットカードにおける「遊」-『宿命の交わる城』（イタロ・カルヴィーノ著）から -

講演日

2016年5月7日（土）14:00～17:00 受付開始 13:30

※申し込み不要

場所

武庫川女子大学 学術研究交流館 (IR) 1階 101

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

問い合わせ先

武庫川女子大学生活美学研究所

TEL: 0798-67-1291



【講師プロフィール】

フィレンツェ大学大学院美術史専攻修士課程修了。

元ローマ・ラ・サピエンザ大学東洋学部専任講師。専攻は日本美術史・日欧交流の歴史。

日本財団、日本文化会館、VersOriente などの様々な組織と連携し、

イタリアを中心に展示や日本文化・日欧交流史に関する啓蒙的・教育的研究活動を精力的に行なっている。

陶磁器に関する研究も行い、明治・大正期に欧米向け輸出品とされた萬古焼の「滑稽味」を基点とした独自のコレクションを集成している。



ダニエラ・サドゥン先生



パネルディスカッションの様子